

令和 7 年度

運営に関する計画



大阪市立晴明丘南小学校

大阪市立晴明丘南小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1. 学校運営の中期目標

現状と課題

昨年度は、課題の解消に向けて、チームで共通理解を図りながら、「めざす方向性」に向けて、グランドデザインを元に、教職員が一体となってカリキュラムマネジメントを進めてきた。

令和6年度のカリキュラム・マネジメントでめざした方向性

- 繼続的に進めてきた、生活科・総合的な学習の時間（生活・総合）の研究を踏まえ、「地域の人・もの・こと」とつながる体験的な学習活動は、継続して行っていく。
- すすんで運動に取り組み 共に高め合う子どもを育てる取り組みを進める中で、つけたい力を明確にするとともに、どの子も「できる」「楽しい」が味わえ、自分の学びを確認し、達成感や、自己有用感を感じられることを目指す。
- 「互いの違いを認め合う」「思いやりの心をもつ」「つながりを意識し大切にする」「なりたい自分に向かって努力を続ける」という4つを意識した教育活動・体験活動・豊かな心を育む教育を全教職員でチームとなって推進していく。

結果、「運営に関する計画」では3つの最重要目標の「学校園の年度目標」について、小学校学力経年調査の児童アンケートの数値が、8項目中4項目で令和5年度の数値を上回っていたが、半数の項目は目標を下回る結果となった。

【安全・安心な教育の推進】

- ・ 年間を通じての教科指導に加え、様々な学校行事や体験活動、「ミナミンピック週間」、みんなん班活動等の充実により、「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の回答が増加した。しかし、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」や「自分にはよいところがありますか。」については、一昨年度に比べマイナスの結果となった。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・ 学力経年調査結果や体力・運動能力等調査結果において成果があり、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができます」「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答も増加した。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・ 読書活動については、様々な取り組みの成果が上がった。しかし、学習者用端末の活用率や時間外勤務については目標には届かなかった。

今年度は、これらの結果をふまえ、

- 児童の自尊感情や自己肯定感を醸成するためのさらなる取り組みの充実を図り、自信をもって学習活動で発表や表現ができる集団育成を進めていく。
- 学習者用端末を用いた授業についての研究・研修を進め、授業改善を積極的に行っていく。
- 「働き方改革」の視点から、組織全体としてあるべき姿をめざし、互いに声をかけあっていく。また、校務の効率化を図っていくとともに、本校の児童につけさせたい力を育成できる視点からの学校行事の精選を進めていく。

今年度も、これらの課題の解消に向けて、チームで共通理解を図りながら、「めざす子ども像」に向けて、グランドデザインを元にカリキュラム・マネジメントを進めていきたい。

中期目標 (R4 年度～R7 年度までの 4 年間で達成する目標)

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 7 年度小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。(R4 85.7% → R5 83.2% ▼ → R6 89.3%△)
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 88%以上にする。(R4 80.7% → R5 84.3%△ → R6 83.4%▼)
- 令和 7 年度小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。(R5 87% → R6 79.5%▼)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 50%以上にする。(R4 42.9% → R5 46.6%△ → R6 47.6%△)
- 令和 7 年の小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 85%以上にする。(R4 76.5% → R5 69.8% → R6 76.1%△)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 7 年度の授業日において、80%以上の児童が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 60%以上にする。(新規設定目標 R6 25%)
- 令和 7 年度に教員の勤務時間の上限に関する基準（毎月の時間外勤務時間が 45 時間を超えない。かつ年間の時間外勤務時間が 360 時間以下）を満たす教職員の割合を 80%以上にする。(R5 65.4% 1月末△ → R6 57.7%)
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」に対して、「全くしない」と回答する児童の割合を 20%以下にする。(新規設定目標 R6 23.9%)

2. 中期目標の達成に向けた年度目標

【3つの最重要目標】

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。
(R4 85.7% → R5 83.2%▼→R6 89.3%△)
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を88%以上にする。(R4 80.7%→ R5 84.3%△→R6 83.4%▼)
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
(R5 87%△→R6 79.5%▼)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を、50%以上にする。
(R4 42.9%→R5 46.6%△→R6 47.6%△)
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を、85%以上にする。
(R4 76.5%→R5 69.8%△→R6 76.1%△)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の60%以上にする。(新規設定目標 R6 25%)
- 令和7年度に教員の勤務時間の上限に関する基準(毎月の時間外勤務時間が45時間を超えない。かつ年間の時間外勤務時間が360時間以下)を満たす教職員の割合を80%以上にする。(R5 65.4% 1月末現在△→R6 57.7%▼)
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、ふだん(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、まん画や雑誌は除く)」に対して、「全くしない」と回答する児童の割合を20%以下にする。
(新規設定目標 R6 23.9%)

3. 本年度の自己評価結果の総括

様式（2）

大阪市立晴明丘南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いませんか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。 (R3年 83% → R4 85.7% → R5 83.2%▼ → R6 89.3%△) 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を88%にする。 (R3 78.9% → R4 80.7% → R5 84.3%△ → R6 83.4%▼) 令和7年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 (R5 87%△ → R6 79.0%▼) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号1 安心・安全な教育環境の充実】 人権を尊重する教育の推進。「共に学び、共に育ち、共に生きる教育」の一層の推進を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 互いに尊重し合える集団作りのために道徳の授業を活用し、年間1回以上公開授業を行う。 さくら学習会を全学年で年に1回以上実施し、互いを理解し尊重し合う大切さを学ぶ機会をもつ。 様々な学習の機会において、多文化共生教育をテーマにした教材を使った学習を年に1回以上行う。 <p>取組内容②【基本的な方向番号1 安心・安全な教育環境の充実】 「大阪市いじめ対策基本方針」に基づく対応を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪市いじめ対策基本方針に基づいた「晴明丘南小学校いじめ防止基本方針」を作成し、教員間で周知の上、学校全体でいじめ対応に取り組む。 年に1回の「いじめ（いのち）について考える日」には、全学級でいじめ問題を扱った授業を行う。 毎学期、いじめに関するアンケートを実施する。事案が発覚した場合には、「晴明丘南小学校いじめ防止基本方針」に従った対応を迅速に進める。 	

取組内容③【基本的な方向番号2 豊かな心の育成】

異学年交流を進め、互いの違いを認め合い、高めあえる多文化共生教育の推進を図る。

指標

- ・校外学習や児童会活動などを活用して、異学年と交流する機会を年間通じて実施する。
- ・ペア学年での活動やみんなみん班での活動の在り方を工夫し、校内児童アンケートにおいて、「他学年との交流が楽しかった」と答える児童の割合を90%にする。・校内児童アンケートにおいて、「学校行事や学習場面などで、友だちのために行事や活動をがんばれた」と答える児童の割合を75%にする。

具体的な取組内容や取組の進捗状況の結果と分析

【取組内容①】

【取り組み内容②】

【取り組み内容③】

次年度への改善点

様式（2）

大阪市立晴明丘南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「あてはまる」と回答する児童の割合を、50%以上にする。 (R3 37.2% → R4 42.9% → R5 46.6% → R6 47.6%△) 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を、85%以上にする。 (R4 76.5% → R5 69.8% → R6 76.1%△) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向番号4 誰一人取り残されない学力の向上】 主体的・対話的で深い学びの視点に沿った授業改革に取り組み、思考力の向上を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの学習意欲を高めるための研究を行い、授業研究会を年6回以上もつ。 「見つけて・伝えて・やってみる」「どうするのかな？やってみたいな・できた」というような子どもの思考にそった授業改善を計画し実施する。 学習活動の中で1日1回程度、ペアやグループでの話し合い活動を取り入れる。話し合い活動後ふり返りを行い、子どもの考えが深まること、広がったことについて価値づけられるようにする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向番号5 健やかな体の育成】 児童一人一人の状況を把握しながら、学校園における体力向上に向けた取組の推進を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の実態に応じて運動の楽しさに触れられる体育の授業を実施する。 「ミナミンピック週間」を年に3回実施する。 (①新体力テスト②一輪車・竹馬・固定遊具③縄跳び) 毎日給食カレンダーを読み、週に1度給食クイズを行うことによって食育の推進を全校で取り組む。 	
具体的な取組内容や取組の進捗状況の結果と分析	
【取り組み内容①】	

【取り組み内容②】

次年度への改善点

様式(2)

大阪市立晴明丘南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の60%以上にする。（新規設定目標→R6 25%） 令和7年度に教員の勤務時間の上限に関する基準（毎月の時間外勤務時間が45時間を超えない。かつ年間の時間外勤務時間が360時間以下）を満たす教職員の割合を80%以上にする。（R5 65.4% 1月末△→R6 57.7% 1月末▼） 令和7年度の小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、まん画や雑誌は除く）」に対して、「全くしない」と回答する児童の割合を20%以下にする。 (新規設定目標→R6 23.9%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向番号6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 一人一台端末の環境を生かし、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた取組の推進を図る。	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 毎日、心の天気を入力する。 連絡帳を電子配信して、家庭で毎日、端末を使用するようにする。（全端末配置後） 	
取組内容②【基本的な方向番号7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 「学校園における働き方改革推進プラン」に基づく取組の推進を図る。	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 週に1回「ゆとりDAY」を設定し、17時半までに退勤できるようにする。 日常、仕事の偏りが出ないよう、分掌部で業務を分担し、18時までに退勤できるようにする。 	
取組内容③【基本的な方向番号8 生涯学習の支援】 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づき、全ての子どもが生き生きと読書を楽しむための取組を実施していく。	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 毎週1回、読書タイムで、子どもの実態に応じた読書活動を進めるようにする。 学期に1回、全体シャッフル読書（教職員による読み聞かせ）を行う。 学期に1回、みなみん班での読み聞かせ集会を行う。 	
具体的な取組内容や取組の進捗状況の結果と分析	

【取組内容①】

【取組内容②】

【取組内容③】

次年度への改善点